



Bringing value to life.

日本郵船グループ 採用パンフレット



数字で見る! 日本郵船グループの **ここがすごい!**

海上輸送に始まり「海陸空」全ての輸送網を有する総合物流企業として、地球全体を舞台に活躍してきた日本郵船グループ。総合物流企業の枠を超え、社会のため、そこで暮らす人々のため、今後も未来に必要な価値を共創していきます。

海運業とは? 日本郵船グループとは?

日本の貿易量 **99.6%**は船が担う



海に囲まれた島国である日本は、多くの国との貿易に船を使っており、その割合は輸出入に占める重量ベースで99.6%にも及びます。海運業は日本にとって必要不可欠であり、まさに産業を支える動脈と言えます。

日本郵船の規模と競争力



日本の貿易量のうち80%以上を日本郵船が担っています。その中でも日本郵船グループは世界最大の船隊規模を誇ります。さらに、それぞれの船種においても日本郵船グループは世界有数の競争力を有しています。

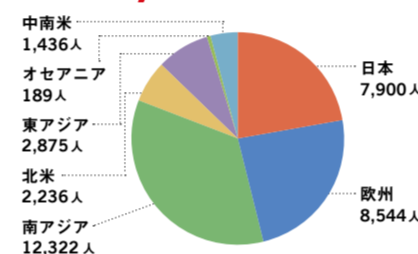


こんなにたくさんの産業を支えている

私たちの生活に必要な食料、衣類、木材、原油・ガスなどのエネルギー資源、鉄鉱石などの工業原料、自動車、機械類など多くの産業を支えています。

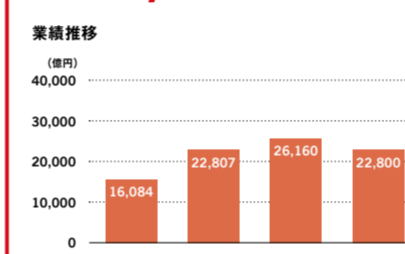


総従業員数 **35,502人**



バックボーンや国籍の違う様々な従業員が活躍しています。ここで出会う多くの人々がそれぞれの想いを持ち、グループ全体で価値を提供しています。

連結売上高 **26,160億円**



中核事業の深化と新規成長事業の進化で、社会に貢献し持続的成長を続ける企業グループを目指します。

日本郵船の歴史

岩崎彌太郎

我ら一艦の船を浮かべれば、世に一層の便をもたらし、その利は全人民の頭上に落ちる理なり

(当社による意訳を行っています。)日本郵船グループの前身は、岩崎彌太郎が1875年に設立した三菱財閥の源流となる郵便汽船三会社です。明治の激動の時代に、人々に暮らしの豊かさを強く願う彌太郎の使命感を象徴するこの言葉は、時代を超えて「モノ運びを通じて人々により豊かな生活をもたらす」という意味を持つ、私たち日本郵船グループのミッション「Bringing value to life」につながっています。



写真提供: 三菱史料館

日本郵船グループの **ここがすごい!**

1 人材育成

日本郵船グループでは、会社を支える「人材の育成」に力を注ぎ、成長しながら働くことのできる環境づくりに取り組んでいます。

NYK ビジネスカレッジ参加者 **2,228名以上**

日本郵船グループの幅広い事業分野において、高い専門性と広い視野を持つビジネスリーダーになるための多彩なプログラムを用意しています。

NYK ビジネスカレッジ 主なプログラム

日本郵船グループについて知る **ESG 研修**

専門的な業務知識を学びたい **海運実務に特化した会計研修、法務研修等**

船のことにもっと詳しく知りたい **船舶運航管理者研修、乗船研修**

語学を磨きたい **英語講座、中国語講座等**

自分のペースで好きな分野を学びたい **通信講座**

2 福利厚生

業務外での活動でも、グループ全体で一丸になって交流を図っています。

スポーツフェスティバル **31社 869人**

水上運動会 **22社 795人**

保養所・社員倶楽部 **3箇所・2箇所**

ニ引会(クラブ・サークル) **合計 20の班**

グループ会社従業員も含め、親睦・福利厚生を目的とした班活動を任意で実施しています。合計20の班に分かれ、スポーツや芸術活動等に取り組んでいます。

3 環境・ESG

1885年から築き上げてきた事業基盤を通じて、企業価値を持続的に向上するため、日本郵船グループはESG経営を掲げています。

脱炭素

持続可能な社会すなわち「青く美しい地球」そして「次世代に安心して引き継げる社会」の実現を目指しています。脱炭素化をはじめとした気候変動対応に加え、気候変動と密接に関連している自然資本に対する取り組みを加速させ、お客さまやパートナーの皆様とともにバリューチェーン全体でさまざまな取り組みを共創していきます。

紀州みなべのアカウミガメ調査プログラム

広大な海を回遊するウミガメに当社イメージを重ねた環境分野の取組として2016年に始めました。日本ウミガメ協議会研究者の指導のもと、産卵のため上陸するアカウミガメの夜間調査を実施しています。絶滅危惧種であるアカウミガメの生態解明と保全に貢献し、またグループ従業員が海洋環境への興味関心を深める一助となっています。

D&I (ダイバーシティ & インクルージョン)

自由闊達で多様性を認め合い、チャレンジを後押しする企業風土の中、性別・国籍を問わず多種多様な人材が活躍しています。グローバルに事業展開する日本郵船グループの従業員数は約35,000人、このうち8割強が日本以外の地域で勤務しています。

DX グランプリ企業 2023

特に優れた取組を行った **企業 2社の1つとして選定**



ヒトの技術力にDXの多様な取り組みを融合し、人、現場、データ収集・活用において成長を続けています。当社技術本部やグループ会社の技術集団を中心に多岐にわたる安全運航や環境負荷の低減など、さまざまな業務改善を支える開発を行っています。2023年には「DX グランプリ企業2023」に選定されました。

日本郵船グループの仕事を **志向** で探す

A 世界及び日本経済の発展や人々の生活を支えたい

日本郵船グループの事業を通じ、世界と日本経済の発展を支え、海を架ける力で人々の生活を向上させる使命感。グローバルな視点と技術を駆使し、様々な社会的な課題に果敢に立ち向かう。

中面の事業 **01 02 03 07 08**

B 現場力で物流を支えたい

物流の舞台裏で巧みに手腕を振るいたい。荒波にも負けず、確かな技術と迅速な対応で、船舶が円滑に航行し、貨物が確実に目的地に届くことを実現したい。その力で世界と日本の経済に新たな躍進をもたらす。

中面の事業 **01 02 03 04 08**

C 新たな技術や価値を創造したい

歴史ある海運業において、新たな技術や価値を創造し、未来を切り開く。蓄積したノウハウと最新技術を駆使し、環境への配慮を重視した製品開発や船舶設計を推進。海運業に革新の風を吹き込み。

中面の事業 **05 06 11**

D 船を操縦したい

自らの技能と現場感覚を武器に、大海原を舞台に安全かつ安定した輸送を現場で担う。仲間と一緒に海運の最前線に立つプロフェッショナルを目指せ。

中面の事業 **01 02 07 09**

E 海上輸送を技術で支えたい

海上輸送において、深い知識と緻密な計画で物流を支える。船舶の運航を管理し、安全な輸送を実現。さらに確かな技術力で次世代のモノ運びをリード。

中面の事業 **01 04 05 06**

F 事業の管理、運営をサポートしたい

事業の管理と運営を支え、企業の航海において確かな舵手になりたい。優れた人材の配置、健全な会計管理、IT技術による変革など、経営のあらゆる側面から船団を安定かつ成功へと導く。

中面の事業 **04 09 10 11**

グループ丸のモノ運び

モノ運びはグループ各社の協働によって成り立っています。今回はコンテナ貨物が輸入される過程に着目して、グループ丸のモノ運びをご紹介します。

外国から荷物が運ばれてくる

##海上輸送業・船主業・船舶管理業

燃料の海上輸送には船だけでなく、船員の確保、船員の管理、燃料手配や航路計画、荷物の集荷・密着など様々な役割が必要となります。日本郵船グループでは船を所有する船主業、船員を配車・安全運航を行うために品質を管理する船舶管理業、貨物を積載し実際に船に指示し、各種手配を行う海上輸送業を行う会社があり、それぞれに連携しています。

補油

##船舶関連会社・エンジニアリング事業

船を動かすには燃料油や潤滑油が必要で、航海中に補油を実施します。日本郵船グループには燃料油・潤滑油の販売等が得意な外航船関連会社があり、国内外で安定的かつ競争力のある手配を通じて、船運航を支えています。また、船用品・船用資材も寄港時に手配します。



日本の港に入港する

##曳船業

いよいよ港への入港です。日本郵船グループが扱う船はとて大きく、港湾内などの狭いエリアで細かく自由に動くことができないため、曳船ロープで牽引したり、船首を押し、誘導・補助し、安全に離着岸できるようにサポートすることが必要です。また、各種入港手続、船員交代を行う船舶代理店も船の安全運航には不可欠です。日本郵船グループには全国各地の港に曳船会社・代理店が存在しています。



荷物を下ろす

##港運関連事業

船が入港すると運んできた荷物を降ろす必要があります。日本郵船グループにはコンテナターミナルのオペレーションを行う、荷下ろしした荷物の通関を行うグループ会社などもあり、ドックでスムーズな荷役を実施しています。

お客様に届ける

##物流事業 #港運関連事業

荷下ろした荷物はお客様が指定する倉庫や工場まで輸送します。身近なことから特殊貨物まで、積み込みや固縛、きめ細やかな技術で対応し、安全で確実な陸上運送をグループ会社で支えています。また、海上輸送のみならず、海外の送り先の倉庫・工場から国内の拠点まで、陸上輸送と航空輸送を組み合わせて最適な輸送も担っています。

船をメンテナンス

##船舶関連製造業 #船舶関連会社・エンジニアリング事業

寄港時には、船の健康状態を確認し、必要な手当を行います。また、船は一定の特殊貨物まで、積み込みや固縛、きめ細やかな技術で対応し、安全で確実な陸上運送をグループ会社で支えています。また、海上輸送のみならず、海外の送り先の倉庫・工場から国内の拠点まで、陸上輸送と航空輸送を組み合わせて最適な輸送も担っています。

01 海上輸送業・船主業・船舶管理業

志向 志向 志向 志向

A B D E

人々の生活を支えることを使命として、大型船舶の所有・管理・運航を通じて、世界中のお客様に安全に貨物をお届けします。

日本郵船

1865年の創業以来海運を中心にした「モノ運び」を通じて、人々の暮らしや生活を支えることを誇りに総合物流企業として活動の幅を広げました。ESG経営を重視し、社会から必要とされる持続的成長を推進し続けています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

旭海運株式会社

1965年の創業以来海運を中心にした「モノ運び」を通じて、人々の暮らしや生活を支えることを誇りに総合物流企業として活動の幅を広げました。ESG経営を重視し、社会から必要とされる持続的成長を推進し続けています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

三菱鉱石輸送株式会社

1956年創業の太平洋汽船グループは、資源輸送とエネルギーの供給を主眼として、クリーンなエネルギーであるLNGを安全に輸送しています。安全品質管理、運航管理、船員管理の高度なサービスを提供しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

八馬汽船

1966年創業の太平洋汽船グループは、資源輸送とエネルギーの供給を主眼として、クリーンなエネルギーであるLNGを安全に輸送しています。安全品質管理、運航管理、船員管理の高度なサービスを提供しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

02 曳船業

志向 志向 志向

A B D

細い操作が難しい大型船が港内で航行・離着岸できるように誘導・補助する船を扱っており、港湾内での安全性・効率性に貢献しています。

新日本海洋社

1966年創業の太平洋汽船グループは、資源輸送とエネルギーの供給を主眼として、クリーンなエネルギーであるLNGを安全に輸送しています。安全品質管理、運航管理、船員管理の高度なサービスを提供しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

大分臨海興業

1966年創業の太平洋汽船グループは、資源輸送とエネルギーの供給を主眼として、クリーンなエネルギーであるLNGを安全に輸送しています。安全品質管理、運航管理、船員管理の高度なサービスを提供しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

03 港運関連事業

志向 志向

A B

港湾での貨物の積み降ろし、保管、船舶の入出港手続きなど、船舶・港湾インフラに関する業務を行います。国内や地域の経済発展において重要な役割を担っています。

04 船舶関連会社・エンジニアリング事業

志向 志向 志向

B E F

船用品の供給、船舶のメンテナンスなど、専門的な知識と技術を生かした事業フィールドは多岐に渡ります。

郵船港運

「大船」に入る船や貨物に関する様々な仕事を中心に、あらゆる輸送手段を使っての業務ももたらす総合物流サービスを提供しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

日本コンテナ輸送

当社は、国際標準コンテナ輸送のバイオとして1967年8月15日に設立されました。年間1億を超えるコンテナを国内で陸上輸送し、2024年に57周年を迎える総合物流会社です。安全第一に顧客の物流サービスに貢献しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

05 船舶関連製造業

志向 志向

C E

船舶の建造や建造、修繕、船舶関連製品の開発・製造を行い、その高い品質で船舶の安全性、信頼性に寄与しています。

郵船商事

半世紀以上に渡る「信頼」と「実績」のもと「エネルギー」と「メカトロニクス」の融合を武器に、新エネルギーの提供、環境対策商品の開発など、新しい分野にも果敢とチャレンジし、ビジネスを拡大しています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

郵船商事マリン

日本郵船グループの唯一として70年近く海運業界に携わってきました。主に船を動かすために必要な機器部品・航海するための船用品・安全に貨物を運ぶために必要な船用資材の販売納入を行っています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

AMCO エンジニアリング

船舶計装制御システムの保守・補修、部品販売、コミュニケーション、試運転制御システム・制御盤の製作販売及び保守・補修、部品販売建設（電気工事）向け計装制御システムの開発・設計・施工、電気工事 他

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

06 日本油化工業

燃費改善に寄与する燃料油供給、海上流出の自然浄化を促す船洗剤、自動車洗車機用洗剤等を開発し製造販売しています。また燃料油・潤滑油等の性状分析やコンサルティングサービスを行っています。

採用職種	ポイント
船長	①海上輸送業務 ②船舶管理業務 ③船員管理業務

07 旅客事業

志向 志向

A D

クルーズ船やフェリーの運航やレストラン運営など、お客様に非日常のひとときをお届けします。

08 物流事業

志向 志向

A B

グローバルネットワークを活かした航空・海上・陸上輸送及び倉庫管理など、包括的な物流ソリューションを提供します。

09 人材派遣業

志向 志向

D F

特殊作業船に携わる海上職員や、貿易関連事務などの海運関係会社の求人ニーズに応え、的確な人材とのマッチングを図ります。

09 人材派遣業

志向 志向

D F

特殊作業船に携わる海上職員や、貿易関連事務などの海運関係会社の求人ニーズに応え、的確な人材とのマッチングを図ります。

08 物流事業

志向 志向

A B

グローバルネットワークを活かした航空・海上・陸上輸送及び倉庫管理など、包括的な物流ソリューションを提供します。

09 人材派遣業

志向 志向

D F

特殊作業船に携わる海上職員や、貿易関連事務などの海運関係会社の求人ニーズに応え、的確な人材とのマッチングを図ります。

08 物流事業

志向 志向

A B

グローバルネットワークを活かした航空・海上・陸上輸送及び倉庫管理など、包括的な物流ソリューションを提供します。

09 人材派遣業

志向 志向

D F

特殊作業船に携わる海上職員や、貿易関連事務などの海運関係会社の求人ニーズに応え、的確な人材とのマッチングを図ります。

10 会計

志向

F

海運業界から一般企業まで、幅広い業種の経理業務（伝票処理、振込支払処理などの日次業務、月次・期末決算資料作成等）をトータルにサポートします。

11 システム事業

志向 志向

C F

各社の業務システムの企画・開発・保守・運用、各種ユーザー支援など、ICT（情報通信技術）を活用した幅広いビジネスソリューションを提供しています。

日本郵船グループの技術力

日本郵船グループの強みの1つである「技術力」は、お客様さまの気持ちに寄り添い、安全かつ環境に優しく、お客を届けるという使命が受け継がれ、試行錯誤を繰り返しながら、安全運航や環境負荷の低減、さまざまな業務改善を支える開発を行い、成長を続けています。

安全運航

##船舶運航/管理ソリューション事業 #システム事業

安全運航の達成は、日本郵船グループの事業継続の根幹です。安全運航は、乗務員乗船の安全を守り、貨物の安全と安定したサービスの提供につながることも、美しい海を次世代につぐ環境保護からも必要不可欠な要素です。AI技術を活用したデータ解析・診断による事故予防や、異常検知システムの研究開発のほか、事故発生率の低減と乗組員の労働負荷軽減による効率運航や安全レベルの向上を狙った自律運航技術に関する技術開発などデジタル技術を活用した安全かつ高品質な物流サービスを維持・提供しています。

脱炭素・地球環境保全

##船舶関連製造業 #曳船業

日本郵船グループは、地球環境を守るための脱炭素化の活動を推進しています。船舶から排出される二酸化炭素（CO2）の削減と燃料消費削減に効果の高い添加剤の開発・製造を進め、最新の環境対応技術で脱炭素に取り組んでいます。また、洋上風力発電など再生可能エネルギー事業への参入、アンモニアや水素を燃料とする船舶の技術開発、それら燃料の供給など、地球環境保全への取り組みを通じて新規事業にも挑戦しています。

IT

##システム事業

海運業を取り巻くデジタル基盤の整備を推進することで改革を支え、新しいビジネスの実現に取り組んでいます。業務プロセスの刷新、データとテクノロジーを活用したオペレーションの革新、ITセキュリティ対策など安全かつ安定したデジタル基盤を構築しています。

客船事業

##旅客事業

横浜港に現存する氷川丸は1930年に日本郵船グループがシタル航路用に建造した貨客船で、当時は最新鋭の船として竣工されました。物を安全に運ぶ技術は、豪華客船「飛鳥丸」や東京湾クルーズ、日輪を結ぶ旅客船輸送といったお客様さまの余暇に貢献する事業に繋がっています。

客船事業

##旅客事業

横浜港に現存する氷川丸は1930年に日本郵船グループがシタル航路用に建造した貨客船で、当時は最新鋭の船として竣工されました。物を安全に運ぶ技術は、豪華客船「飛鳥丸」や東京湾クルーズ、日輪を結ぶ旅客船輸送といったお客様さまの余暇に貢献する事業に繋がっています。

客船事業

##旅客事業

横浜港に現存する氷川丸は1930年に日本郵船グループがシタル航路用に建造した貨客船で、当時は最新鋭の船として竣工されました。物を安全に運ぶ技術は、豪華客船「飛鳥丸」や東京湾クルーズ、日輪を結ぶ旅客船輸送といったお客様さまの余暇に貢献する事業に繋がっています。

会計その他スキル

##会計 #人材派遣業

世界・国内の物流を支える日本郵船グループには多岐にわたる事業力があり、会計・税務においては連結報告、決算早期化、監査、税務対策の対応など広範囲な知識と経験が求められます。事務の管理や運営に必要なスキルを業務委託や派遣により提供することにも力を注いでいます。

会計その他スキル

##会計 #人材派遣業

世界・国内の物流を支える日本郵船グループには多岐にわたる事業力があり、会計・税務においては連結報告、決算早期化、監査、税務対策の対応など広範囲な知識と経験が求められます。事務の管理や運営に必要なスキルを業務委託や派遣により提供することにも力を注いでいます。